



2016年度

おおよど遺産

パンフレット



奈良県大淀町

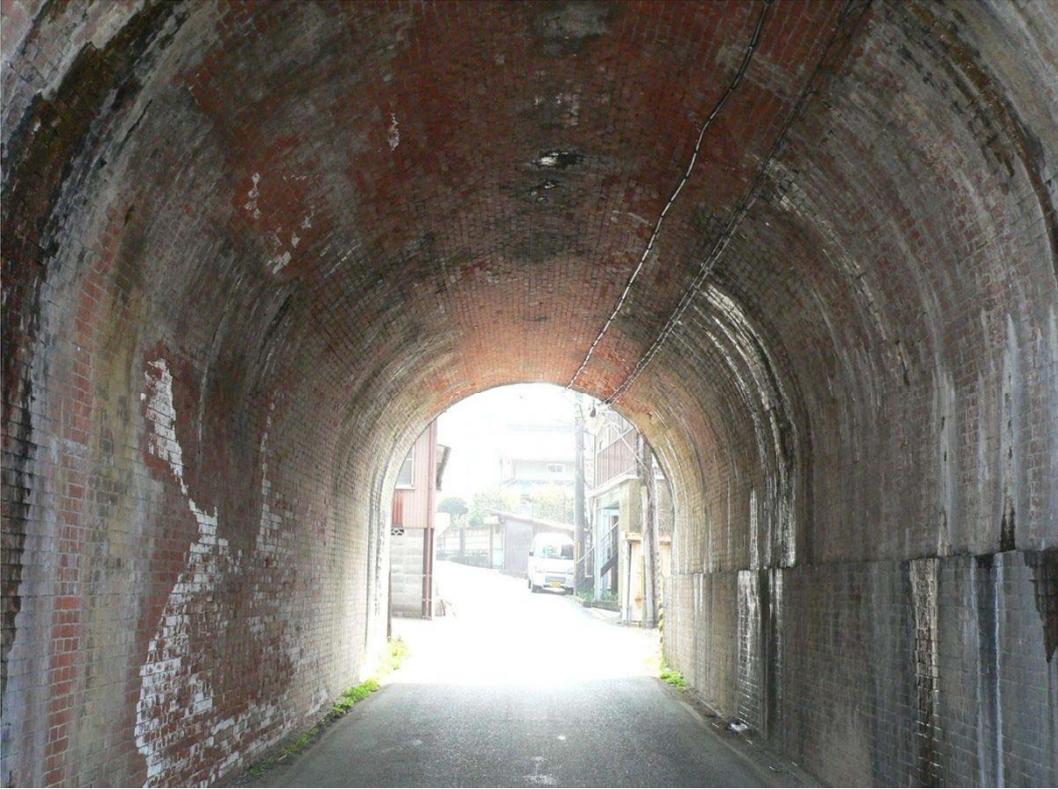
2016年度おおよど遺産（大淀町選定地域遺産）リスト一覧

No.	名称	分類	地域	選定年月日	備考
1	オカリヤをたてる 御霊神社の秋祭	民俗遺産	佐名伝	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
2	潮の香りと弥生人の記憶 佐名伝銅鐸	もの遺産	佐名伝	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
3	梨の花香る里山 大阿太高原	景観遺産	佐名伝・薬水	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
4	大正浪漫のタイムトンネル 薬水門	近現代遺産	薬水	2017年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
5	薬水の由来 弘法井戸	名所遺産	薬水	2017年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
6	おおみそかの送り火 牛と馬のトンド	民俗遺産	今木	2017年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
7	天まであがれ 大岩のトンド	民俗遺産	大岩	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
8	アメタモンレの伝承 大日堂と大岩神社	もの遺産	大岩	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
9	蓮のつぼみを抱えた大日如来	もの遺産	岩壺	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
10	ワツタイヨーで強くなれ 子ども相撲	民俗遺産	岩壺	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
11	村の庄屋の物語 迎居家の文化遺産	もの遺産	持尾	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
12	お正月の風物詩 カンジョウカケ	民俗遺産	畑屋	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
13	忠臣小金吾 伝説をものがたる石塔	名所遺産	桧垣本	2017年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
14	能楽お囃子のふるさと 桧垣本八幡神社	名所遺産	桧垣本	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
15	張子の仏に願いを込めて 桧垣本釈迦堂	名所遺産	桧垣本	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
16	安佐寺ゆかりの仏たち 馬佐薬師堂	もの遺産	馬佐	2017年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
17	吉野最大級 北六田の木造倉庫群	近現代遺産	北六田	2017年3月31日	大淀町地域遺産会議推薦分
18	ふるさとを見守る ムクノキの巨樹	自然遺産	比曽	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
19	子どもに恵まれますように 上比曽のいのこ	民俗遺産	比曽	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分
20	椿井の杜の鎮守さま 水分神社	名所遺産	増口	2017年3月31日	大淀町各区・自治会推薦分

① 分類	民俗遺産	② 地域	大淀町大字佐名伝
③ 名称			
<p style="text-align: center;"> オカリヤをたてる ごりようじんじゃ あきまつり 御霊神社の秋祭 </p>			
④ 説明			
<p>大淀町西部の佐名伝地区には、オカリヤたてと呼ばれる神事が古くから受け継がれています。毎年10月に行う秋祭りの大祭の一週間前、氏神である御霊神社のみたまを神に移してオカリヤ（仮の祭殿）にお迎えし、地区の病魔退散と五穀豊穰を祈願します。秋祭の大祭には、再び氏神を神社へと送るオワタリがあります。吉野郡内でも珍しい古風な神事です。</p>			
⑤ 写真			
			
⑥ 連絡先	佐名伝御霊神社護持会（総代長）		

① 分類	もの遺産	② 地域	大淀町大字佐名伝
③ 名称			
<p>しお かも やよいじん きおく さな てどうたく 潮の香りと弥生人の記憶 佐名伝銅鐸</p>			
④ 説明			
<p>大淀町西部の佐名伝地区内で、個人の手によって、長年保存されてきた銅鐸です。付着した土の成分から、佐名伝の地で掘り出されたものと考えられます。つくられた時代は弥生時代の中期後半（約 2,000 年前）。「横帯分割型（おうたいぶんかつがた）」という瀬戸内海地域に特徴的な文様をもちます。紀の川（吉野川）を介した海浜地域との交流を示す銅鐸です。</p>			
⑤ 写真			
			
⑥ 連絡先	大淀町教育委員会		

① 分類	景観遺産	② 地域	大淀町大字 ^{さなて} 佐名伝・ ^{くまりみず} 薬水
③ 名称			
<p>なし はなかお さとやま おお あ だ こうげん 梨の花 香る里山 大阿太高原</p>			
④ 説明			
<p>大淀町西部の薬水・佐名伝地区にひろがる大阿太高原は、標高およそ 250 メートルの高さにある丘陵地帯です。このあたりでは果樹栽培に適した気候を活かし、明治 35 年（1902）から梨の栽培が盛んに行われてきました。知る人ぞ知る、甘くて美味しい二十世紀梨の生産地です。4月に咲く淡白の花は、清純・純潔の象徴ともされ、町の花に指定されています。</p>			
⑤ 写真			
			
⑥ 連絡先	大淀町果樹組合（代表）		

① 分類	近現代遺産	② 地域	大淀町大字 ^{くすりみず} 薬水
③ 名称			
たいしょうろまん 大正浪漫のタイムトンネル			
④ 説明			
大淀町西部の薬水地区には大正元年（1912）年、吉野軽便鉄道の開通にともない完成した現役の鉄道高架橋「薬水門」があります。道路と水路をまたぐレンガ積みの美しい二連アーチ橋は、大正時代の面影と浪漫を今に伝える、貴重な現役の近代化遺産です。土木学会の平成 25 年度選奨土木遺産にも認定され、訪れる人々に静かな感動を与えています。			
⑤ 写真			
			
⑥ 連絡先	薬水区（区長）		

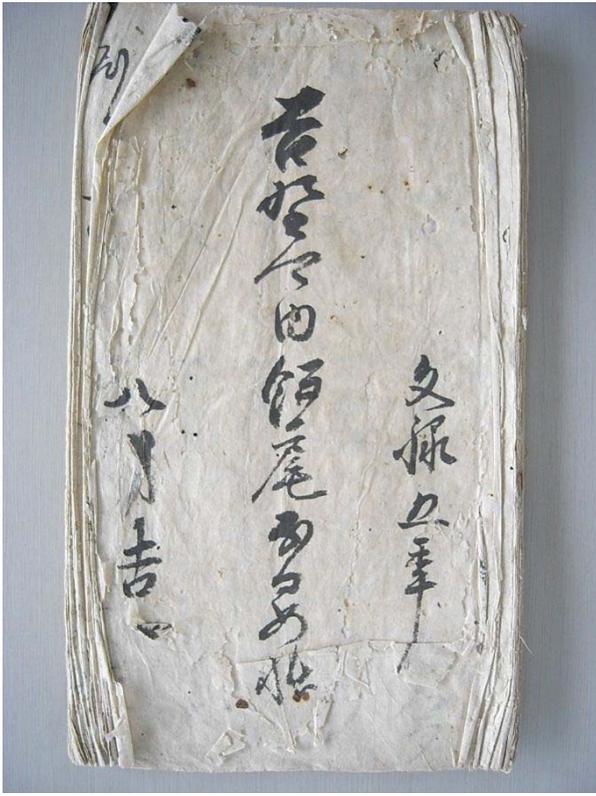
① 分類	名所遺産	② 地域	大淀町大字 <small>くすりみず</small> 薬水
③ 名称			
<p>くすりみず ゆらい こうほう い ど 薬水の由来 弘法井戸</p>			
④ 説明			
<p>大淀町西部・薬水地区の地名の由来となっている井戸に、次のような伝承があります。昔、弘法大師・空海が、宇陀の室生寺と高野山の間を往来していた頃、この村の多くの人々が疫病に苦しんでいるのを知り、水の湧く場所を教えました。その水を飲むと、病気がたちまち治ってしまいました。その不思議な湧水から、薬水という地名が生れたということです。</p>			
⑤ 写真			
			
⑥ 連絡先	薬水区（区長）		

① 分類	民俗遺産	② 地域	大淀町大字 ^{いまき} 今木
③ 名称			
<p style="text-align: center;"> おおみそかの おく び 送り火 うし うま 牛と馬のトンド </p>			
④ 説明			
<p>大淀町西部・今木地区の中野家に伝わる古風な招福行事は、「牛と馬のトンド」と呼ばれています。大晦日の夕刻、新米の藁で使った牛・馬のつくりものを、高さ約2mの藁束に引っ掛けて川沿いの自宅の田んぼでともに焚き上げ、火が消えるまで見守ります。牛と馬をねぎらい、ゆく年へ感謝し、くる年の平穏無事を送り火で祈る、伝統的な文化の名残りを伝えています。</p>			
⑤ 写真			
			
⑥ 連絡先	今木区（区長）・中野勝彦		

① 分類	もの遺産	② 地域	大淀町大字大岩 ^{おおいわ}
③ 名称			
<p style="text-align: center;"> <small>でんしょう</small> <small>だいにちによらい</small> <small>おおいわじんじゃ</small> <small>しんぞう</small> アメタンモシの伝承 大日如来と大岩神社の神像 </p>			
④ 説明			
<p>大淀町西部・大岩地区に大日堂には、平安時代後期（約 900 年前）に造られた、木造の大日如来坐像が伝わっています。夏の日照りが続く干ばつとき、大日さんをお願いすれば雨を降らせてくれるといわれ、大日堂の前で雨乞い行事が行われたと伝えます。同じ丘陵の上には、鎌倉・室町時代にさかのぼる神像群をまつる大岩神社（水分神社）が鎮座しています。神像は男女一対で6体あり、雨乞いの神として知られる「八大龍王」であるとも伝えています。</p>			
⑤ 写真			
			
⑥ 連絡先	大岩自治会（会長）		

① 分類	もの遺産	② 地域	大淀町大字岩壺 ^{いわつぼ}
③ 名称			
<p>はす ^{かか} ^{だいにちによらい} 蓮のつぼみを抱えた大日如来</p>			
④ 説明			
<p>大淀町北部・岩壺地区の大日寺には、室町時代の制作とみられる珍しい大日如来坐像があります。通例のような智拳印（ちけんいん）を結ばず、両手で蓮のつぼみを抱えるように握りしめ、その顔はほほえみをうかべて慈愛に満ちています。長年の信仰のためか、その姿は煤で黒く変色していますが、今でも2月の大日祭には欠かさず、村人の祈りが捧げられています。</p>			
⑤ 写真			
			
⑥ 連絡先	岩壺区（区長）		

① 分類	民俗遺産	② 地域	大淀町大字岩壺 ^{いわつぼ}
③ 名称			
ワッタイヨーで強くなれ ^{つよ} ^こ 子ども相撲 ^{すもう}			
④ 説明			
<p>大淀町北部・岩壺地区の葛上神社には、剛力の氏神・タチカラオが主祭されています。相撲を好む神様だとされ、10月に行われる秋祭では、その神前で、男児たちによる奉納相撲があります。まわしをしめた二人の男児の傍らに介添の大人がつき、肩を組ませて腕を回し「ワッタイワッタイ、ワッタイヨー！」のかけ声をとなえと、参列者は小銭を紙に包んだハナをたくさん投げて、子どもの成長と村の安全祈願を願います。</p>			
⑤ 写真			
			
⑥ 連絡先	岩壺区 (区長)		

① 分類	もの遺産	② 地域	大淀町大字持尾 ^{もちお}
③ 名称			
<p>むら しょうや ものがたり むかい け ぶんかいさん 村の庄屋の物語 迎居家の文化遺産</p>			
④ 説明			
<p>大淀町北部の持尾地区にある迎居家では、数多くの古文書が保管されています。とくに文禄5年（1596）の土地台帳「吉野郡内餅尾別要帳（べつようちょう）」は、大淀町内に残る最古の史料として貴重です。ほかに和鏡や下市漆器、火縄銃や天秤、茶釜など、江戸時代に代々庄屋をつとめた家の物語が、約400年の間、タイムカプセルのように保存されています。</p>			
⑤ 写真			
			
⑥ 連絡先	持尾区（区長）・迎居茂貴		

① 分類	民俗遺産	② 地域	大淀町大字畑屋 ^{はたや}
③ 名称			
<p style="text-align: center;">しょうがつ ふうぶつし お正月の風物詩 カンジョウカケ</p>			
④ 説明			
<p>大淀町北部の畑屋地区では、年末に集落の谷あいへ、カンジョウ縄と呼ぶ長さ50メートルの大縄を掛け渡します。村の安全と五穀豊穡を祈る年頭行事です。氏神の祭神・八大龍王がこのカンジョウ縄となって、厄病から村を守っているのだと考えられています。かつて町内各地でおこなわれていたカンジョウカケも、今では畑屋地区でしか見ることができない風物詩です。</p>			
⑤ 写真			
			
⑥ 連絡先	畑屋区（区長）		

① 分類	名所遺産	② 地域	大淀町大字 ^{ひがいちと} 檜垣本
③ 名称			
<p>ちゅうしん こ きん ご でんせつ せきとう 忠臣小金吾 伝説をものがたる石塔</p>			
④ 説明			
<p>大淀町中部・檜垣本地区の国道沿いにたつエノキの巨樹の下に、人形浄瑠璃等の演目「義経千本桜」に登場する、平維盛の家臣・主馬小金吾武里（しゅめのこきんごたけさと）の墓と伝える石塔があります。付近の地名・金吾町はこれに由来します。小金吾は、吉野へ逃れた維盛を探して旅をする維盛の妻子を守り、追っ手と戦い、この場所で悲運の死を遂げたといひます。</p>			
⑤ 写真			
			
⑥ 連絡先	金吾町区（区長）		

① 分類	名所遺産	② 地域	大淀町大字 ^{ひがいもと} 桧垣本
③ 名称			
<p>のうがく はやし 能楽お囃子のふるさと ひがいもとはちまんじんじゃ 桧垣本八幡神社</p>			
④ 説明			
<p>平安時代の創建と伝える大淀町中部、桧垣本地区の八幡神社。江戸時代には近隣の八幡社の総社としても栄えた古社ですが、室町時代に能楽（猿楽）のお囃子の芸祖たちを輩出した「桧垣本猿楽」ゆかりの地としても知られています。木々にかこまれた境内を貫く、参道の石鳥居、桜・新緑・紅葉や雪化粧といった四季折々の風景は、訪れる人々の五感を楽しませてくれます。</p>			
⑤ 写真			
			
⑥ 連絡先	桧垣本八幡神社（氏子総代）		

① 分類	名所遺産	② 地域	大淀町大字 ^{ひがimoto} 桧垣本
③ 名称			
<p>はりこ ほとけ ねが こ ひがimotoしゃかどう 張子の仏に願いを込めて 桧垣本釈迦堂</p>			
④ 説明			
<p>大淀町中央部、桧垣本地区の釈迦堂には、竹の骨組みに和紙を張り重ねて造った、町内でも珍しい張子の釈迦坐像があります。胎内には寛政8年（1796）の墨書柱が残され、かんなくすや過去帳、般若心経といったお経の写しなどが張り込まれており、外面からはわからない信仰の世界が広がっています。明治の頃、廃寺になった近隣の寺（三護寺）から移され、地元の講の管理となって以来、数回の補修が地元住民の手でおこなわれ、大切に祀られています。</p>			
⑤ 写真			
			
⑥ 連絡先	□桧垣本区（区長）		

① 分類	近現代遺産	② 地域	大淀町大字 ^{きたむだ} 北六田
③ 名称			
<p>よしのさいだいきゅう きたむだ もくそうそうこぐん 吉野最大級 北六田の木造倉庫群</p>			
④ 説明			
<p>大淀町東部の北六田地区は、大正元年（1912）に開通した「吉野軽便鉄道」の終着点・吉野駅が置かれた場所で、当時の駅のプラットフォーム跡が残されています。駅跡一帯では、大正2年（1913）から昭和10年（1935）の棟札が残る木造倉庫群、昭和26年（1951）に造られた、棟の高さ13mを誇る吉野地域最大級の木造倉庫が、現在でも使われています。</p>			
⑤ 写真			
			
⑥ 連絡先	北村化学研究所		

① 分類	自然遺産	② 地域	大淀町大字比叡
③ 名称			
<p style="text-align: center;"> ふるさと を見守る ムクノキの 巨樹 </p>			
④ 説明			
<p>大淀町東部の上比叡地区、地蔵堂のある村のまんなかに、ムクノキの巨樹がたっています。幹周りで約7メートルをはかる、社叢以外の樹木では大淀町内でも珍しいものです。台風による欠折のため、枝張りは小さくなっていますが、それでも空にむかってそびえたつ姿は生命力にあふれ、地域に緑の潤いを与えて続けています。いつまでも元気でいてほしい巨樹です。</p>			
⑤ 写真			
			
⑥ 連絡先	上比叡区（区長）		

① 分類	民俗遺産	② 地域	大淀町大字比 ^{ひそ} 曾
③ 名称			
<p style="text-align: center;">こ^{めぐ}どもに恵まれますように 上^{かみひそ}比曾のいのこ</p>			
④ 説明			
<p>大淀町東部の上比曾地区で11月に行われる「いのこまつり」。いのこ、とは「亥の子」でイノシシの子をさします。上比曾地区の子どもたちは、その年に結婚した若い夫婦の家へ行き、いのこ唄を歌いながら新米の藁束で作った「タタキワラ」を地面に何度も打ちつけて祝います。この行事は、子どもに恵まれますように、との意味合いが込められているようです。</p>			
⑤ 写真			
			
⑥ 連絡先	上比曾区（区長）		

① 分類	名所遺産	② 地域	大淀町大字増口 ^{ましぐち}
③ 名称			
つばい もり ちんじゅ すいぶんじんじゃ 椿井の杜の鎮守さま 水分神社			
④ 説明			
大淀町東部の増口地区に水分神社はあります。鳥居をくぐる高い石段は、明和4年（1767）と文政12年（1829）、吉野川の水運の無事を祈る「筏連中」によって寄進されたものです。石段の上には、「吉野建て」とよばれる崖造りの割拝殿。本殿は素木の神明造りで桧皮葺。地元増口地区と、隣接する吉野町上市地区の氏子さんたちにより、今も大切に守られています。			
⑤ 写真			
			
⑥ 連絡先	増口区（区長）・水分神社		

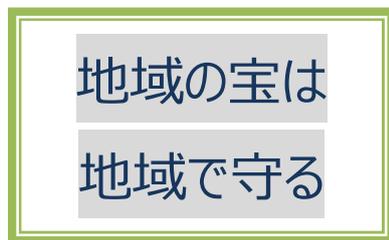
このパンフレットを手にとっていたいただいた皆様へ

大淀町では、2016年度に策定した、「大淀町地域遺産保存・活用制度」実施要綱にもとづき、町内各地域に残された様々な遺産（地域遺産）のなかから、とりわけ魅力あるストーリー（物語）をもつものを、有形・無形を問わず「おおよど遺産」として選定し、地域住民と行政が協働でおこなう保存・活用を目指しています。

このパンフレットでは、大淀町が町内各区・自治会の推薦をうけ、大淀町地域遺産会議での審議等を経て、2016年度に選定した20件の「おおよど遺産」を紹介しています。

「おおよど遺産」は、大淀町内各地の歴史・文化を特徴づけるとともに、地域住民の心の拠りどころとして、また、大淀町を訪れる人々にも、地域に愛着を感じていただくきっかけとして、そして、地域文化を持続させ、次世代へとつなぐ記憶のバトンとして活かされることが大いに期待されるものです。

これからも、大淀町が推進する、「おおよど遺産」を活かした地域文化の保存・継承と活性化事業に、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、お願いいたします。



<大淀町地域遺産保存・活用事業>

編集・製作 大淀町・大淀町教育委員会

2017年3月

〒638-0812 奈良県吉野郡大淀町桧垣本 2090 番地

大淀町地域遺産会議事務局（大淀町教育委員会）

電話：0747-54-2110 ファックス：0747-54-2112